



VERITAS BACKUP EXEC の製品使用権説明書

この製品使用権説明書（「本書」）には、ライセンス対象ソフトウェアを利用する個人、会社、または法人のお客様（以下「お客様」または「お客様の」と表記）と Veritas Technologies LLC の間で結ばれたベリタスソフトウェア使用許諾契約（「使用許諾契約」）の下でライセンスが付与されたライセンス対象ソフトウェアに対する追加の利用条件（「製品使用権」）が記載されています。本書で使用されている、かぎ括弧で囲まれた用語のうち、本書で定義されていないものは、使用許諾契約で指定された意味になります。使用許諾契約および本書の利用条件に矛盾がある場合は、本書の利用条件が優先します。

ライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用することにより、お客様は本書に記載された製品使用権、および使用許諾契約の利用条件に準拠することに同意したとみなされます。お客様がライセンス対象ソフトウェアに適用される製品使用権に同意しない場合は、ライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用しないでください。

本書が対象とするライセンス対象ソフトウェアは、Veritas Backup Exec です。

ライセンス対象ソフトウェアは、Backup Exec Simple、Custom Edition、ブロンズエディション、シルバーエディション、ゴールドエディション、または V-ray Edition としてお客様にライセンス供与されます。

- **Simple** サブスクリプションライセンスに基づくお客様のライセンス対象ソフトウェアの使用に関する詳細については、第 1 条（「定義」）および第 2 条第 4 項（「一般的な権利」）をご参照ください。
- **Custom Edition** 永続ライセンスに基づくお客様のライセンス対象ソフトウェアの使用に関する詳細については、第 1 条（「定義」）、第 2 条第 1 項（「一般的な権利」）および第 2 条第 6 項（「詳細」）をご参照ください。
- サブスクリプションまたは永続ゴールドエディション、シルバーエディション、ブロンズエディションにおけるお客様のライセンス対象ソフトウェアの使用に関する詳細については、第 1 条（「定義」）、第 2 条第 2 項（「一般的な権利」）、および第 2 条第 5 項（「詳細」）をご参照ください。
- **V-Ray Edition** 永続ライセンスに基づくお客様のライセンス対象ソフトウェアの使用に関する詳細については、第 1 条（「定義」）および第 2 条第 3 項（「一般的な権利」）をご参照ください。

	Backup Exec Simple	Backup Exec ブロンズエディション	Backup Exec シルバーエディション	Backup Exec ゴールドエディション	Backup Exec V-Ray Edition	Backup Exec Custom Edition
ライセンス有効期間	サブスクリプションのみ	永続またはサブスクリプション	永続またはサブスクリプション	永続またはサブスクリプション	永続のみ	永続のみ
メーター	FETB 単位またはインスタンス単位	FETB 単位またはインスタンス単位	FETB 単位またはインスタンス単位	FETB 単位またはインスタンス単位	CPU ソケット数単位	特定のデバイス、エージェント、オプションに基づく
Backup Exec Simple サブスクリプションでのみ利用可能な機能 (「×」はその機能が搭載されていないことを示します。)	Microsoft 365 のユーザーデータをバックアップ。 *Backup Exec Simple コアパックのインスタンス単位のライセンスには、5 つのインスタンスと、追加で Microsoft 365 ユーザー 10 人分の保護が含まれます。	×	×	×	×	×

1. 追加の定義。

「アプリケーション」は、特定のアプリケーション (例: Microsoft SQL Server) について操作を実行するように設計された 1 つ以上のプログラムを意味しますが、実行はシステムソフトウェアに依存します。

「Capacity Edition」は、ベリタスから使用許諾されているとおりにフロントエンドテラバイトの値に基づいてお客様に使用許諾されているライセンス対象ソフトウェアのライセンスを意味します。本書の他のいかなる条項にかかわらず、Capacity Edition ライセンスに含まれるすべてのコンポーネントのライセンスメーターは、フロントエンドテラバイトに基づくものとします。Capacity Edition ライセンスには、ブロンズ、シルバー、ゴールドエディション、Backup Exec V-Ray、および以下の第 2 条に追加されるその他のエディションが含まれます。上記にかかわらず、Backup Exec V-Ray はクラスタのハイパーバイザホストまたはノードで使用されている CPU ソケットの数に基づき使用許諾されます。V-Ray を除き、Capacity Edition ライセンスで使用許諾されたライセンス対象ソフトウェアを Custom Edition ライセンスで使用許諾されたライセンス対象ソフトウェアと組み合わせて使用することはできません。

「クライアント」または「デバイス」は、(i) お客様がライセンス対象ソフトウェアをインストールし、使用可能であること、(ii) お客様がインストールされたライセンス対象ソフトウェアにネットワーク上でアクセスし、使用可能であること、(iii) 2 台の異なるデバイスをつなぐ物理的な接続ポイントであること、のいずれかを満たす 1 台のコンピュータ、ストレージドライブ、またはその他のデバイスを指します。

「コールドディザスタリカバリ機器」または「コールド DR 機器」は、コールドディザスタリカバリライセンスに基づいてライセンス対象ソフトウェアをインストールおよび設定できるサーバーならびに/もしくはプロセッサ、またはデバイスを意味します。お客様の通常の社内業務期間中にトランザクションを処理する、または作業負荷を必要とする本番用途には使用されません。

「コールドディザスタリカバリライセンス」または「コールド DR ライセンス」は、災害の発生時における使用許諾契約の要件に従ったお客様による使用のみを目的としてベリタスにより許諾され、コールドディザスタリカバリ機器上に配備されるライセンス対象ソフトウェアのコピーを指します。



「**Custom Edition**」または「**単体ライセンス**」とは、ベリタスから使用許諾された特定のデバイス、エージェント、またはオプション機能に基づいてお客様に使用許諾されるライセンス対象ソフトウェアのライセンスを指します。**Custom Edition** ライセンスのライセンスメーターは、以下の第 2 条第 1 項で規定されている、ライセンス対象ソフトウェアが提供する機能を必要とするライセンス対象ソフトウェア環境の個々のクライアント、アプリケーション、またはデバイスに基づきます。**Custom Edition** ライセンスで使用許諾されたライセンス対象ソフトウェアは、**Backup Exec V-Ray Edition** を除き、**Capacity Edition** ライセンスで使用許諾されライセンス対象ソフトウェアと組み合わせることはできません。

「**データ回復サイト**」または「**DR サイト**」は、コールドディザスタリカバリ機器が所在するサイトまたは場所を指します。

「**ディザスタ**」は、ライセンス対象ソフトウェアが本番用途に使用される適用可能なシステム、またはこのようなシステムにインストールされているライセンス対象ソフトウェアについて、動作の大幅な低下を招く予期せぬ出来事を意味します。火災、地震、洪水、コンピュータウイルスなどが含まれますが、これらに限定されません。

「**フェールオーバー準備テスト**」は、お客様の本番業務をサーバー間で転送するための手順をテストすることです。

「**フロントエンドテラバイト**」または「**FETB**」は、(i) 適用されるライセンス対象ソフトウェアがインストールされたクライアントもしくはデバイスの総データ量、または (ii) ライセンス対象ソフトウェアを使用してバックアップ機能を提供できるクライアントもしくはデバイスの総データ量を意味し、合計値が最大の完全バックアップ (または合成完全バックアップ) が実行された際にライセンス対象ソフトウェアによって実際に測定されたデータ量を指します。テラバイトデータの端数は、最も近い整数のテラバイト数に切り上げられます。1 テラバイトは、1,024 ギガバイトのデータに相当します。

「**ホスト**」は、特定のアプリケーション (例: **Microsoft SQL Server**) について操作を実行するように設計された 1 つ以上のプログラムを意味しますが、実行はシステムソフトウェアに依存します。

「**インスタンス**」とは、クラウドコンピューティング環境の仮想マシン、データセンターの物理ホストなど、単一コンピューティングインスタンスを指します。インスタンスライセンスは、(i) **Hyper-V** の役割を担う **Microsoft Windows Server** ホスト、(ii) **VMware vCenter** 仮想アプライアンスまたは **Windows** のそれぞれに必要となります。ボリューム、システム状態を保護する場合の **Windows** クラスタ内の各ノードは、独立したインスタンスと見なされます。たとえば、4 つのノードを持つ **Windows** クラスタがある場合、4 つのインスタンスライセンスが必要になります。また、(iii) 各クラウド共有を一意的 **DNS** 名を持つファイルサーバーとして追加する必要があります。以下はインスタンスライセンスを必要としません。**VMware ESXi** ホストおよび **Microsoft Hyper-V** サーバー (**Windows** なし)。さらに、**Backup Exec Simple** では、1 つのインスタンスを 10 人の **Microsoft 365** ユーザーとして定義することができます。

「**管理対象 Backup Exec Server 環境**」は、1 台の **Backup Exec** 集中管理サーバーで管理される **Backup Exec Server** のグループを指し、**Backup Exec** 集中管理サーバーが存在しない場合は 5 台の **Backup Exec Server** の静的グループを指します。

「**ノード/IP**」は、インターネットプロトコルや **MAC** アドレスなどの、一意のネットワークまたはコンピュータアドレスを指し、これはライセンス対象ソフトウェアによって監視されます。

「**プロセッサ**」または「**CPU**」は、コンピュータを実行する命令、および/またはソフトウェアにアクセスしたりソフトウェアを実行したりする命令に回答し、これを処理する論理回路を指します。各プロセッサは、複数の処理コアによって構成される場合があり、各コアが個別のプロセッサとして独立して機能する場合があります。ベリタスによって、プロセッサの使用許諾はソケットごとをベースにするとされた場合、プロセッサの数は、クラスタ環境のプロセッサなど、ホストで使用可能なプロセッサの総数として数えられます。

「**本番用途**」は、お客様の通常の業務 (フェールオーバー準備テスト以外の通常の本番用途および本番前のテストなど) をサポートする、ライセンス対象ソフトウェアの機能操作を意味します。

「**サーバー**」は、ネットワークインフラ内でリソースを共有することによりクライアントコンピュータに対してサービスまたはリソースを提供する独立したコンピュータを指します。サーバーでは、他のコンピュータまたはデバイスのためにサーバーソフトウェアを実行できます。

「**サイト**」は、独立した物理的な場所、クラウド、またはエアギャップ環境を指します。

「ストレージデバイス」は、情報を保存するため、コンピュータに接続される、スタンドアロン方式のストレージユニット、またはマルチデバイスディスクもしくはテープを利用したストレージシステム内のストレージユニットとして機能する独立したディスク、テープ、CD、光ディスク、またはDVD デバイスを指します。

「テスト日」は、連続する 24 時間、またはそのような 24 時間の期間内の一部を意味します。

「ユーザー」は、当該ソフトウェアを使用すること、またはその使用により恩恵を受けることをお客様に認定された個人および/またはデバイス、または当該製品またはサービスの一部を実際に使用する個人および/またはデバイスを指します。「並列実行ユーザー」は、任意の時点でライセンス対象ソフトウェアを使用できる同時ユーザーおよび/または同時デバイスの数を指します。

2. 各エディションのライセンス詳細。

ライセンス対象ソフトウェアは、本条の条項に従って、Simple、ブロンズエディション、シルバーエディション、ゴールドエディション、V-Ray Edition、または Custom Edition でライセンス供与されます。

2.1. Custom Edition の一般的な権利。 お客様が以下に列挙するライセンス対象ソフトウェア製品 (Custom Edition) の使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、お客様は、該当条項に従って、以下の表およびライセンス証書で特定されている該当使用レベルでかかるライセンス対象ソフトウェアを使用することができます。

製品	メーター
Backup Exec	サーバー単位
Agent for Applications and Databases	アプリケーション単位
Agent for Windows	サーバー単位
Backup Exec Agent for Linux	サーバー単位
Agent for VMware and Hyper-V	ホスト単位
Remote Media Agent for Linux	サーバー単位
Deduplication Option	サーバー単位
Enterprise Server Option	サーバー単位
Library Expansion Option	デバイス単位
NDMP Option	サーバー単位
VTL Unlimited Drive Option (VUDO)	デバイス単位

2.1.1. エージェントおよびオプション。 お客様が Custom Edition の使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、お客様は、任意のシリアル番号が付与されたデータベースエージェント、リモートエージェントまたは製品オプションの個々のライセンスコピーを、物理サーバーまたは仮想サーバーにかかわらず、1 台のアクティブなサーバー上でいつでも使用できます。また、ライセンス対象ソフトウェアを実行している任意のサーバーにエージェントまたはオプションのライセンスキーをインストールすることで、個々のサーバーをライセンス対象ソフトウェアを実行している任意のサーバーで保護できます。上記にかかわらず、シリアル番号が付与されたデータベースエージェント、リモートエージェント、または製品について、以下に明示的に記述され、そこに別のライセンス規定がある場合は、その別のライセンス規定が適用されます。お客様がエージェントまたはオプションの使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、お客様は、以下の第 2 条第 4 項で規定されるエージェントまたはオプションを使用することができます。

2.2. ブロンズ、シルバー、ゴールドの一般的な権利。 お客様がゴールドエディション、シルバーエディション、またはブロンズエディションの使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、お客様は、該当条項に従って、以下の表およびライセンス証書で特定されている該当使用レベルでかかるライセンス対象ソフトウェアを使用することができます。

製品	メーター
Backup Exec ブロンズ	フロントエンドテラバイト単位
Backup Exec ブロンズ	インスタンス単位
Backup Exec シルバー	フロントエンドテラバイト単位
Backup Exec シルバー	インスタンス単位
Backup Exec ゴールド	フロントエンドテラバイト単位
Backup Exec ゴールド	インスタンス単位

2.2.1. エージェントおよびオプション。 お客様がゴールドエディション、シルバーエディション、ブロンズエディションの使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、第 2 条第 1 項または Custom Edition のライセンスで規定されている各エージェントおよびオプションの該当メーターにかかわらず、お客様はフロントエンドテラバイト数の累積容量と環境の累積インスタンス数がライセンス付与されたフロントエンドテラバイト数とインスタンス数の合計を超えず、エージェントまたはオプションが、以下の第 2 条第 3 項で指定されているライセンスエディションに含まれている限り、物理環境または仮想環境のサーバー、アプリケーション、クライアント、またはデバイス上でライセンス対象ソフトウェアのライセンス対象エディションを使用できます。

2.2.2 サブスクリプション。 お客様がブロンズ、シルバーまたはゴールド Capacity Edition の使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、ライセンス対象ソフトウェアは、一定期間に限り、お客様に使用許諾されている場合があります (サブスクリプション、すなわち期間限定型ライセンスなど)。ライセンス対象ソフトウェアが、一定期間に限り、お客様に使用許諾されている場合 (該当するライセンス証書に記載)、ライセンス対象ソフトウェアを使用するためのお客様のライセンスは、該当するライセンス期間の満了時に終了するものとします。上記にかかわらず、お客様が、現行のサブスクリプションまたは期間限定ライセンスに基づきライセンス対象ソフトウェアの使用を許諾されていない場合、お客様は、サブスクリプションの満了前にライセンス対象ソフトウェアによりバックアップされたデータを復元する目的に限り、現行のライセンスなしでライセンス対象ソフトウェアを使用することができるものとします。かかる使用は、使用許諾契約および本文書の条項と一致するものでなければなりません。かかる復元使用のためのライセンス対象ソフトウェアのメンテナンス/サポートは提供されません。

2.2.3 Backup Exec Server を複数のサーバーにインストールする場合は、すべてのサーバーで同じ Backup Exec Edition を配備して、同じ FETB 単位またはインスタンス単位のライセンス資格を持つ必要があります。

2.3 V-Ray Edition の一般的な権利。 お客様が V-Ray Edition の使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、ライセンス対象ソフトウェアおよび関連資料の個々のコピーを 1 台のアクティブなサーバー上で使用して、ゲスト数にかかわらず、単一の Hypervisor ホストから、およびライセンス対象ソフトウェアを実行しているサーバーからデータバックアップを実行できます。別途ライセンスを付与されたライセンス対象ソフトウェアのコピーがクラスタ内のアクティブな各サーバーにインストールされていることを前提に、ライセンス対象ソフトウェアの個々のコピーを一連のクラスタ化されたサーバーの一部として 1 台のアクティブなサーバーで常に使用できます。クラスタ内のパッシブノードでは、別途ライセンスを必要とすることなく、ライセンス対象ソフトウェアのコピーをインストールできます。Backup Exec V-Ray Edition ライセンスはクラスタのハイパーバイザホストまたはノードで使用されている CPU ソケット数に基づき測定されます。たとえば、クラスタ内の 3 つのノードそれぞれに 2 つの CPU を搭載したハイパーバイザホストがある場合、(2 CPU x 3 クラスタノード) の Backup Exec V-Ray Edition には 6 つのライセンスが必要です。V-Ray Edition ライセンスに含まれるエージェントとオプションは、ライセンス対象ハイパーバイザホスト上のゲスト仮想マシンにのみ適用されます。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server



Agent for Applications and Databases
Backup Exec Agent for Linux
Agent for Windows

Backup Exec V-Ray Edition により、仮想マシンと仮想マシンが常駐する仮想ホストを保護できます。V-Ray Edition に含まれる物理 Backup Exec Server 1 台のみを保護するのではなく複数の物理コンピュータを保護するには、Backup Exec Agent やオプションのライセンスを追加購入する必要があります。たとえば、Oracle を実行している物理システムの場合は、Backup Exec Agent for Applications and Databases ライセンスを購入してそのサーバーを保護する必要があります。Oracle エージェントのバックアップを作成する Backup Exec Server のライセンスを追加購入する必要はありません。

仮想ホスト上で実行しているその他のアプリケーションは、V-Ray Edition ライセンスの対象外になります。たとえば、Hyper-V ホストが Microsoft Exchange Server も実行している場合、Exchange Server アプリケーションやそのデータを保護するための黙示的なライセンスはありません。このような構成では、Exchange Server を保護するために、Agent for Applications and Databases の追加ライセンスが必要になります。Exchange Server は、物理ホスト上で実行されているからです。

2.4 Simple のための一般的な権利。 お客様が Simple の使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、お客様は、該当条項に従って、以下の表およびライセンス証書で特定されている該当使用レベルでかかるライセンス対象ソフトウェアを使用することができます。

製品	メーター
Backup Exec Simple コアパック	FETB 単位または インスタンス単位*
Backup Exec Simple アドオン	FETB 単位または インスタンス単位
Backup Exec Simple リストアの み	FETB 単位、最大 10 FETB

*単一の Backup Exec Simple コアパックライセンスのインスタンスはすべて、同じサイトで使用する必要があります。

2.4.1 Simple ライセンスでは、該当するライセンス文書でベリタスからのライセンスとして指定された FETB 数またはインスタンス数に基づいてライセンスが付与されます。本書の他のいかなる条項にかかわらず、Simple ライセンスは、第 2 条第 4 項第 2 号に従い、保護またはアーカイブされる FETB またはインスタンスの数で測定されます。配備された各 Backup Exec Server は、データセンター内の 1 FETB 未満のデータまたは 1 つ未満のインスタンスは保護しない場合があります。インスタンス数に基づいてお客様に付与された Simple ライセンスでは、各インスタンスが 1.45 FETB を超えてはなりません。1.45 FETB を超えた場合、ベリタスは保護するために追加の Simple ライセンスを購入するよう、お客様に求める権利を有します。テープドライブの容量が無制限に設定された物理または仮想テープライブラリにバックアップデータを無制限に送信できます。上記にかかわらず、30 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでデータのバックアップを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にした FETB またはインスタンスの数と使用を許諾されたインスタンスの数の差を埋めるか、保護対象にしたデータ量を減らして現時点で使用を許諾された FETB またはインスタンスの数に適合させるまで続きます。Backup Exec Simple リストアのみのライセンス対象ソフトウェアの場合、ライセンス対象ソフトウェアでバックアップを作成したデータをリストアする目的に限り、ライセンス対象ソフトウェアを使用できます。

エージェントおよびオプション
Microsoft 365 のユーザーデータをバックアップ
Backup Exec Server
Agent for Applications and Databases
Agent Remote Media For Linux Servers
Backup Exec Agent for Linux
Agent for Windows
Agent for VMware and Hyper-V
Deduplication Option
Enterprise Server Option
Library Expansion Option (無制限)
NDMP Option
VTL Unlimited Tape Drive Option
Cloud Deduplication

2.4.2 サブスクリプション。 お客様が Simple の使用許諾を受けていることがライセンス証書に示されている場合、ライセンス対象ソフトウェアは、一定期間に限り、お客様に使用許諾されている場合があります (サブスクリプション、すなわち期間限定型ライセンスなど)。ライセンス対象ソフトウェアが、一定期間に限り、お客様に使用許諾されている場合 (該当するライセンス証書に記載)、ライセンス対象ソフトウェアを使用するためのお客様のライセンスは、該当するライセンス期間の満了時に終了するものとします。上記にかかわらず、お客様が、現行のサブスクリプションまたは期間限定ライセンスに基づきライセンス対象ソフトウェアの使用を許諾されていない場合、お客様は、サブスクリプションの満了前にライセンス対象ソフトウェアによりバックアップされたデータを復元する目的に限り、現行のライセンスなしでライセンス対象ソフトウェアを使用することができるものとします。かかる使用は、使用許諾契約および本文書の条項と一致するものでなければなりません。かかる復元使用のためのライセンス対象ソフトウェアのメンテナンス/サポートは提供されません。

2.5 ブロンズエディション、シルバーエディションおよびゴールドエディションライセンスの詳細。

2.5.1 ブロンズエディション。 ブロンズレベルライセンスでは、該当するライセンス文書でベリタスからのライセンスとして指定されたフロントエンドテラバイトまたはインスタンスの数に基づいてライセンスが交付されます。本書の他のいかなる条項にかかわらず、ブロンズレベルライセンスは保護またはアーカイブされるフロントエンドテラバイトまたはインスタンスの値で測定されます。FETB 測定のブロンズエディションの場合、次の表に記載の Backup Exec Server、エージェントおよびオプションを無制限に利用できます。配備された各 Backup Exec Server は、データセンター内の 1 フロントエンドテラバイト (FETB) 未満のデータまたは 1 つ未満のインスタンスは保護しない場合があります。サーバーを無制限で保護して、サーバーごとに 1 つの物理テープドライブにバックアップデータを送信できます。上記にかかわらず、30 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでデータのバックアップを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイト数と使用を許諾されたフロントエンドテラバイト数の差を埋めるか、保護対象にしたデータ量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイト数に適合させるまで続きます。Backup Exec Deduplication Option には、クラウド重複排除機能は含まれません。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server
Agent for Windows
Agent for VMware and Hyper-V
Deduplication Option

2.5.2 シルバーエディション。 シルバーレベルライセンスでは、該当するライセンス文書でベリタスからのライセンスとして指定されたフロントエンドテラバイト数またはインスタンス数に基づいてライセンスが交付されます。本書の他のいかなる条項にかかわらず、シルバーレベルライセンスは保護またはアーカイブされるフロントエンドテラバイト数またはインスタンス数で測定されます。FETB 測定のシルバーエディションの場合、次の表に記載の Backup Exec Server、エージェントおよびオプションを無制限に利用できます。配備された各 Backup Exec Server は、データセンター内の 1 フロントエンドテラバイト (FETB) 未満のデータまたは 1 つ未満のインスタンスは保護しない場合があります。エージェントが別個に提供されている場合、お客様の使用は、エージェントと共に提供される付属の使用許諾契約の対象となります。サーバーあたりのテープドライブの合計が 4 台を超えない限り、スタンドアロンまたはテープライブラリの任意の組み合わせで、最大 4 台の物理または仮想テープドライブにバックアップデータを送信できます。上記にかかわらず、30 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでデータのバックアップを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイト数と使用を許諾されたフロントエンドテラバイト数の差を埋めるか、保護対象にしたデータ量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイト数に適合させるまで続きます。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server
Agent for Applications and Databases
Agent for Linux and UNIX
Agent for Windows
Agent for VMware and Hyper-V
Deduplication Option
Library Expansion Option (最大で 4 台のドライブまで)
Cloud Deduplication

2.5.3 ゴールドエディション。 ゴールドレベルライセンスでは、該当するライセンス文書でベリタスからのライセンスとして指定されたフロントエンドテラバイト数またはインスタンス数に基づいてライセンスが交付されます。本書の他のいかなる条項にかかわらず、ゴールドレベルライセンスは保護またはアーカイブされるフロントエンドテラバイト数またはインスタンス数で測定されます。FETB 測定のゴールドエディションの場合、次の表に記載の Backup Exec Server、エージェントおよびオプションを無制限に利用できます。配備された各 Backup Exec Server は、データセンター内の 1 フロントエンドテラバイト (FETB) 未満のデータまたは 1 つ未満のインスタンスは保護しない場合があります。エージェントが別個に提供されている場合、お客様の使用は、エージェントと共に提供される付属の使用許諾契約の対象となります。テープドライブの容量が無制限に設定された物理または仮想テープライブラリにバックアップデータを無制限に送信できます。上記にかかわらず、30 日間で許諾された使用レベルを超えるデータをライセンス対象ソフトウェアを使用して保護した場合は、ライセンス対象ソフトウェアでデータのバックアップを作成する機能が非アクティブ化されます。この非アクティブ化は、ライセンス対象ソフトウェアのライセンスの使用レベルを増やして保護対象にしたフロントエンドテラバイト数と使用を許諾されたフロントエンドテラバイト数の差を埋めるか、保護対象にしたデータ量を減らして使用を許諾されたフロントエンドテラバイト数に適合させるまで続きます。

エージェントおよびオプション
Backup Exec Server
Agent for Applications and Databases
Agent Remote Media For Linux Servers
Backup Exec Agent for Linux
Agent for Windows
Agent for VMware and Hyper-V
Deduplication Option

Enterprise Server Option
Library Expansion Option (無制限)
NDMP Option
VTL Unlimited Tape Drive Option
Cloud Deduplication

2.6 Custom Edition ライセンスの詳細。

2.6.1 Backup Exec 物理サーバーまたは仮想サーバーにかかわらず、1 台のアクティブなサーバーでライセンス対象ソフトウェアおよび関連資料の個々のコピーを使用して、データのバックアップを実行できます。別途ライセンスを付与されたライセンス対象ソフトウェアのコピーがクラスタ内のアクティブな各サーバーにインストールされていることを前提に、ライセンス対象ソフトウェアの個々のコピーを一連のクラスタ化されたサーバーの一部として 1 台のアクティブなサーバーで常に使用できます。クラスタ内のパッシブノードには、インストールのみを目的としてライセンス対象ソフトウェアのコピーが 1 つ必要ですが、ライセンスは必要ありません。

2.6.2 Backup Exec Agent for Windows. Custom Edition では、Backup Exec Agent for Windows の個別のライセンスコピーを使用して、物理、仮想にかかわらず、単一の Windows サーバーまたはノードを保護する必要があります。Agent for Applications and Databases には、保護対象のアプリケーションまたはデータベースをホストするサーバーにインストールする必要がある Agent for Windows が 1 つ含まれています。

2.6.3 Backup Exec Agent for Linux and UNIX. Custom Edition では、Backup Exec Agent for Linux and UNIX の個別のライセンスコピーを使用して、物理、仮想にかかわらず、単一の Linux サーバーまたはノードを保護する必要があります。Agent for Applications and Databases には、保護対象のアプリケーションまたはデータベースをホストするサーバーにインストールする必要がある Agent for Linux and UNIX が 1 つ含まれています。

2.6.4 Backup Exec Enterprise Server Option. お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが Backup Exec Enterprise Server Option (以下「ESO」) を含む場合は、物理または仮想にかかわらず、1 台のアクティブな Backup Exec Central Admin Server 環境で個別にライセンスが付与された ESO のコピーを常に使用できます。

2.6.4.1 Central Admin Server Option がインストールされている各サーバーには、個別にライセンスが付与された ESO のコピーが必要です。各 CAS で、管理対象 Backup Exec Server (MBES) として有効になっているライセンス対象ソフトウェアのライセンス付与されたすべてのコピーを管理できます。

2.6.4.2 管理対象 Backup Exec Server 環境の各ノードは、Advanced Disk-based Backup Option での使用が許諾されています。

2.6.4.3 Storage Area Network (SAN) に接続されている管理対象 Backup Exec Server 環境の各ノードは、バックアップデータを SAN 上の任意の共有ストレージデバイスに送信するための使用が許諾されています。Backup Exec Server が SAN デバイスを共有するには、ESO のライセンス許諾コピーが必要です。

2.6.4.4 Library Expansion Option (LEO)、VTL Unlimited Drive Option (VUDO)、または NDMP Option ライセンスキーを共有している管理対象 Backup Exec Server 環境にライセンスが付与された Enterprise Server Option のコピーがインストールされていることを前提に、SAN 上のライセンス対象ソフトウェアを実行している複数のサーバーで、常に共通の LEO、VUDO、または NDMP ライセンスキーを使用可能にできます。

2.6.5 Backup Exec Agent for Applications and Databases. アプリケーションまたはデータベースがハイパーバイザホストで実行されている場合は、別個にライセンス付与された Backup Exec Agent for Applications and Database のコピーが必要です。お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが Agent for



Applications and Databases を含み、Custom Edition である場合は、サポートされているアプリケーションとデータベースの 1 つの完全な論理インスタンスに対する保護を有効にするために、物理または仮想にかかわらず、1 台のアクティブなサーバーで個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。また、物理または仮想にかかわらず、シリアル番号が付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases を使用している特定のサーバーまたはノードを保護する目的で、各シリアル番号が付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases を有効にした 1 つの関連付けられた Backup Exec Agent for Windows、または Agent for Linux and UNIX を使用できます。以下の使用許諾条項は Custom Edition ライセンスに適用されるものとします。

2.6.5.1 Backup Exec Agent for Applications and Databases- SharePoint サーバー。 Agent for Windows がインストールされているライセンス対象ソフトウェアを実行している特定のサーバーから複数の物理サーバーまたは論理サーバーに分散されている可能性がある SharePoint サーバーの 1 つの完全な論理インスタンスを保護するために、物理サーバーまたは仮想サーバーにかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバーで個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。または、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを使用して 1 つの SharePoint サーバーファームを保護することもできます。分散されたファーム環境では、SharePoint ファーム内の追加の SharePoint サーバー (Web フロントエンド、インデックス、クエリー、追加の SharePoint データベース) それぞれに追加の Agent for Windows ライセンスとインストールが必要です。

2.6.5.2 Backup Exec Agent for Applications and Databases- Active Directory。 Active Directory を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、Backup Exec Agent for Applications and Databases の個々のコピーを常に使用できます。Agent for Windows がインストールされ、Active Directory ドメインコントローラが保護されているライセンス対象ソフトウェアを実行している特定のサーバーからの個別リカバリを各ドメインコントローラで有効にするには、個別にライセンスが付与された Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。

2.6.5.3 Backup Exec Agent for Applications and Databases- Veritas Enterprise Vault。 Veritas Enterprise Vault を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Enterprise Vault のインストールにおいてバックアップおよびリカバリを実行するには、複数の物理サーバーまたは論理サーバーに分散されている可能性がある各 Enterprise Vault サイトに対して、個別にライセンスが付与された Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。分散環境では、Enterprise Vault エンティティ (ボルトストア、指紋データベース、インデックスの場所など) をホストする各追加サーバーに追加の Agent for Windows のライセンスとインストールが必要です。移行を目的とする場合は、Enterprise Vault データのテープへの移行に使用される各 Backup Exec Server 上に Agent for Applications and Databases のコピーがそれぞれ 1 つあれば十分です。

2.6.5.4 Backup Exec Agent - Oracle。 Windows または Linux システム上の Oracle または Oracle RAC を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Oracle または Oracle RAC の各インスタンスを特定の環境で保護するには、個別にライセンスを付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。

2.6.5.5 Backup Exec Agent for Applications and Databases– Exchange Server。 Exchange Server を保護するために、物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Exchange Server の各インスタンスを特定の環境で保護するには、個別にライセンスを付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。Exchange 2010 データベース可用性



グループ (DAG) のバックアップおよびリカバリでは、ライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが DAG の各メンバーに必要です。

2.6.5.6 Backup Exec Agent for Applications and Databases– SQL Server。 Microsoft SQL Server 製品を保護するために、物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。SQL Server 製品を特定の環境で保護するには、これがインストールされたインスタンスごとに個別にライセンスを付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。

2.6.6 Library Expansion Option。 ライセンス対象ソフトウェアを実行しているすべてのサーバーに、「スタンドアロン」の個々のストレージデバイスまたは、物理または仮想のテープオートローダ、ライブラリ、ロボットライブラリ、ロボットメディアチェンジャー内の 1 つのストレージデバイスを無制限に接続できます。2 つ以上のストレージデバイスを持つテープオートローダ、ライブラリ、ロボットライブラリ、ロボットメディアチェンジャーには、各デバイス内の最初のバックアップドライブ以降の追加ドライブごとに Library Expansion Option のライセンスが必要です。

2.6.7 Backup Exec NDMP Option。 物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec NDMP Option のコピーを常に使用できます。ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバーに接続した各 NDMP サーバーアプライアンスには、個別にライセンスを付与された NDMP Option のコピーが必要です。

2.6.8 Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V。 1 台の VMware ESX ホストサーバーまたは 1 台の Microsoft Hyper-V ホストを保護するために、1 つの Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V ライセンスを常に使用できます。このホストサーバーは、ライセンスが付与された VMware ESX ホストシステムまたは Microsoft Hyper-V ホストシステム上にある無制限のゲスト仮想マシンを保護できます。ゲスト仮想マシンが動作している VMware ESX ホストかどうかに関係なく、ゲスト仮想マシンを管理する各 VMware ESX ホストサーバーまたは Microsoft Hyper-V ホストには、Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V ライセンスが必要です。Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V ライセンスでは、ライセンスが付与されている VMware ESX ホストサーバーまたは Microsoft Hyper-V ホスト上で実行される各ゲスト仮想マシンで、エージェント用に追加ライセンスを購入することなく、Backup Exec Agent for Windows および Agent for Linux and UNIX を使用できます。ゲスト仮想マシンで実行する他のアプリケーションでは、アプリケーションまたはデータベースごとに別途ライセンスを付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases が必要です。

2.6.9 Backup Exec Remote Media Agent for Linux。 物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Remote Media Agent for Linux Servers のコピーを常に使うことができます。

2.6.10 Backup Exec Deduplication Option。 物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Deduplication Option のコピーを常に使うことができます。Backup Exec Deduplication Option には、クラウド重複排除機能は含まれません。

2.6.11 Backup Exec VTL Unlimited Drive Option。 物理または仮想にかかわらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している、Backup Exec Server あたり 1 台のアクティブな VTL デバイスに対して、個別にライセンスが付与された Backup Exec VTL Unlimited Drive Option (VUDO) のコピーを常に使うことができます。

3 追加の権利および制限事項。

3.1 Backup Exec Remote Administration Utility。 ライセンス対象ソフトウェアを実行している無制限のサーバーをリモートで管理する目的で、無制限の Backup Exec Remote Administration Utility を使うことができます。

3.2 クラウドコネクタ。 ライセンス契約したライセンス対象ソフトウェアにベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスにバックアップを保存できるクラウドコネクタ (それぞれが 1 つの「Cloud Connector」) が含まれる場合、次の規定が適用されます。

3.2.1 ベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスにバックアップを保存するための Cloud Connector の使用は、ベリタスの管理外となるこのような環境やサービスを提供するサードパーティにより変更される場合があります。ベリタスはお客様によるこのようなベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスへのアクセスおよび/またはクラウドコネクタの使用に直接または間接に起因する停止、データの損失、バグ、技術的な問題、またはその他のエラーについては責任を負いません。このようなベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスの利用によるあらゆるデータの損失または破損については、お客様が一切のリスクを負うものとします。

3.2.2 本書の他のいかなる条項にかかわらず、クラウドコネクタは「現状有姿のまま」ライセンスされ、いかなる種類の保証もありません。

4. コールドディザスタリカバリのライセンス付与の修正

使用許諾契約の第 2 条は、本書により全体的に削除され、以下で置き換えられます。

「ライセンスの付与。お客様が使用許諾契約の利用条件に従っている場合、ベリタスはお客様に次の非独占的な、譲渡できない (第 18 条第 1 項に別途記載されている場合を除く) ライセンス権限を付与します。

- a. お客様がライセンス対象ソフトウェアを使用できるのは、お客様の社内業務が使用許諾契約 (本書を含む) および適用可能なライセンス文書に記載されている数量およびユーザーレベルに対応している場合のみです。
- b. 現在有効なライセンス対象ソフトウェアのメンテナンス/サポート契約を保持している場合、お客様はお客様のコールドディザスタリカバリ機器にライセンス対象ソフトウェアをインストールできるとともに、(i) このようなライセンス対象ソフトウェアをフェールオーバー準備テストのために使用し、12 カ月の期間のうち最大で合計 30 日をテスト日に当てることができ、この用途を、第 2(a) 条に記載されている、お客様が承認したライセンス対象ソフトウェアの本番用途と並列に実行することができます。また、(ii) ディザスタが発生した場合、お客様は使用許諾契約 (本書を含む) および適用可能なライセンス文書に記載されているユーザーレベルで、このようなライセンス対象ソフトウェアを本番用途に最大で連続 90 日間使用することができます。ただし、このような用途を、第 2(a) 条に記載されているライセンス対象ソフトウェアのお客様の通常の本番用途と並列に実行することはできず、お客様のライセンス対象ソフトウェアに対する合計ライセンス数が、お客様が購入したライセンス数や、適用可能なライセンス文書で指定されているベリタスが承認したライセンス数を超えることはありません。お客様のコールドディザスタリカバリ機器にインストールされていて、この副段落で規定されている権限に従って使用されるライセンス対象ソフトウェアは、お客様の通常の本番用途でお客様が使用するライセンス対象ソフトウェアと同じバージョンである必要があります。また、お客様がライセンス対象ソフトウェアに対して効力のある有効なメンテナンス/サポート契約を結んでいない場合、この副段落で規定されている権限は自動的に終了します。
- c. アーカイブのために、ライセンス対象ソフトウェアの単一のアンインストール済みコピーを作成することができます。

d. お客様は、お客様にサービスを提供するためにコンサルタントまたは委託業者（以下、「コンサルタント」）を通じて権利を行使できます。ただし、お客様のコンサルタントが本使用許諾契約の条項に従うことをお客様が保証し、かかる使用に関連するお客様のコンサルタントの行動についてお客様が全責任を負うものとします。」

5. **フィードバック。** ライセンス対象ソフトウェアは、お客様に任意で製品に対するフィードバックを要求する場合があります。かかるフィードバックを提供することで、お客様の知的財産権に基づいて、お客様はベリタスに対して、お客様についての言及なく、またお客様に対する義務を負わず、以下の権利を伴う、全世界的で、ロイヤリティフリーの、解約不能で非独占的なライセンスを付与します。ベリタスのライセンシーおよび顧客に対するサブライセンスの権利、ベリタス所定の方法でフィードバックを使用および開示する権利、およびベリタスまたはサブライセンシー所定の方法および媒体で、かかるフィードバックを包含したベリタスおよびサブライセンシーの製品を表示、実行、コピー、作成、使用、販売、あるいは処分する権利。

6. **ベンチマーク。** ライセンス対象ソフトウェアに関わるベンチマークテストまたはその他のテストの結果を、ベリタスの書面による事前の同意を得ずにサードパーティに開示することはできません。

7. **データ保護。** お客様が使用するライセンス対象ソフトウェアに関して、ベリタスおよびベリタスのライセンシー、下請業者、またはベリタスを代行するエージェントは、お客様、お客様のデバイスもしくはシステム、またはお客様のソフトウェアの使用状況に関する個人データ（「収集データ」）を含むがこれらに限定されない特定の情報を収集、保持、開示、および使用することがあります。ベリタスはこのような収集データを使用してライセンス対象ソフトウェアの有効化、最適化を行い、お客様にメンテナンス/サポートを提供します（同様の行為のためにサードパーティが関与することもあります）。また、ベリタスの製品およびサービスの向上に使用します。

収集されたデータの処理方法については、<https://www.veritas.com/privacy> にあるベリタスの製品プライバシー通知を参照してください。

ライセンス対象ソフトウェアの使用は、地域によりデータ保護に関する法律または規制の対象となることがあることに留意してください（「個人情報保護法」）。お客様には、当該個人情報保護法に従ってライセンス対象ソフトウェアの使用、当該収集データの処理および転送を確認する責任があります。

お客様は、収集されたデータが、ベリタス、そのアフィリエイトのエージェントおよび下請業者によってグローバルベースで処理され、アクセスされることを了承するものとします。ベリタスは、当該個人データの不正または違法な処理、および偶発的な損失または破壊、あるいは損害に対して、適切な技術的および組織的な対策を講じるものとします。ベリタスは、法律で要求もしくは許可された場合、または召喚状やその他の法的手続きに応じて、収集したデータを開示する場合があります。

お客様は、データの取り扱いに関する補足（随時変更され、www.veritas.com/privacy で閲覧可能）に従って当該個人データを処理することを了承するものとします。

7.1. お客様のライセンスが付与されたソフトウェアの使用に関連して、ベリタスおよびベリタスが指名する、またはベリタスと連携するサードパーティが、特定の情報（「収集データ」）を収集、保持、開示、および使用することがあります。これには、Veritas Smart Meter および/または VMware PhoneHome などのさまざまなメカニズムおよびツールの使用が含まれますが、これらに限定されません。本条の目的において、Veritas Smart Meter および VMware PhoneHome は次の情報を表示するように設計されたツールです。Veritas Smart Meter および VMware PhoneHome は Backup Exec Server からの遠隔測定データを使用して情報を表示します。お客様の環境は、自動遠隔測定データのアップロードを許可しないように構成されている可能性があります。Veritas Smart Meter は、個人識別情報など、お客様のデータコンテンツをベリタスまたは指定されたサードパーティに対して可視性がある形で提供することはありません。



(i) 使用情報:

- 容量資格 (GB)
- 容量の使用状況 (GB)
- メンテナンス契約情報